

国のモデル事業として提案

山地を、トンネル技術とハイブリッドシステム搭載列車で高速で走る(世界に営業できるモデルになる)低予算で田舎と都市を結ぶ。
 ・自然災害時の人口集中圏域からの避難地
 ※山陰は地震の確率が低いと言うデータがあるらしい。
 ・スーパースペース企業への参加を募る。
 (新たなビジネスモデル: 鉄路建設・地方の住居棟の建設。)
 ・公共交通機関を使って、短時間で都市部と地方の居住地へ移動出来ることで、双方が無理のない形で人口の定住化が望める。
 ・高齢化社会を迎えて、新たな地方と都市部双方の機能の有効活用の形。例: オンタイムは都市・オフタイムは田舎を40~50分程度で移動。
 ・山地が多い・都市部と地方の格差の大きいアジア地域での、共存共栄の新たなモデルを示す。

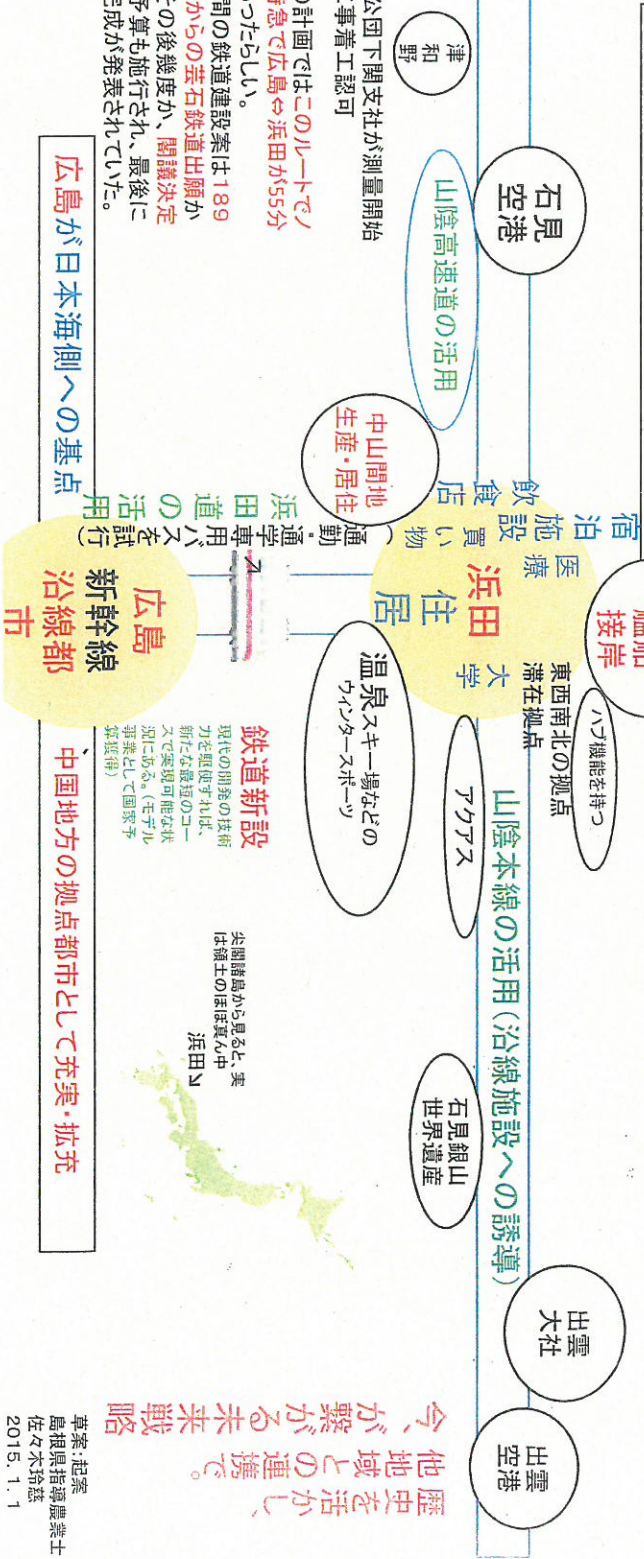
次世代へつなぐ明るい未来像

【浜田と広島を高速鉄道(ハイブリッドシステム新型列車導入)で結び、浜田を都市圏のハイパワータウン・旅行の拠点都市化】
 ・住みたくなる情報を発信: 住人を募集する(一般・企業)。
 ・駐車場の確保: 浜田から公共交通機関を利用。
 ・充実した休日(釣り、スキーなどのレジャーが近い)
 ・教育の充実(保・幼・小・中・高・大)
 ・広島や関西圏域で働く人たちのベッドタウンに。(広島への首都圏・工業地帯からの企業誘致対応): さらに首都圏の人たちもターゲットにする。
 ・浜田駅から広島駅までの通勤時間が約40分程度
 ・医療センターの充実。
 ・県外の大学の学部を誘致する。
 ・人口目標10万人
 ・低価格の住居を販売(住民税・固定資産税収入)
 ・居住者の増加に伴う、商店・サービス業の雇用の増加
 ・目指す形: 浜田藩城下町⇒陸軍軍都⇒水産都市⇒滞在・居住・交流拠点都市
 ・戦略: 首都圏・都市圏の自治体と提携・企業と提携。
 ・綿密に情報・資料を収集・分析。実現に向かって高度の連携を図る。
 次世代に繋がるプロジェクトにする。

【鉄道の利点】
 ・浜田〜広島間をノンストップ運行・新幹線に接続
 ・高齢化によって上昇する車の運転危険度の解消
 ・移動時間短縮(所要時間約40分)
 ・ほぼトンネルであるため雷害・土砂災害に強い
 ・日本海〜瀬戸内海列島横断に最短距離となる
 ・飲酒を伴う食事を可能にする交通手段・移動中のトイレの不安解消
 ・浜田駅から広島駅へ通勤列車: 広島駅から浜田駅へレジャー・列車
 ・JR東日本では豊田通商が、世界で初めて、ハイブリッドシステム搭載の営業列車を運転。
 【トンネル】
 ・シールドマシン1日の掘削10m。トンネル60kmとして6,000日。シールドマシン何台で掘削進めるかで、工事日数は短縮される。単純に例えれば10台なら600日となる。
 ・建設費: シールドトンネル1km約80億円として、60km4,800億円
 ・トンネル工法採用・橋梁建設は、トンネルの2~5倍くらい高額らしい。
 ・用地買収: トンネルの場合トンネル入り口のごく近い所以外は基本的に買わない。
 ・乗車数: 加部駅H. 24年3,527人/1日平均乗員数を参考に試算する。
 ・乗車数: 広島駅H. 25年72,928人/1日平均乗員数
 ・乗車数: 浜田駅H. 24年843人/1日平均乗員数
 * この事業で山陰本線浜田駅の需要価値が高まる



「中国地区経済総合調査」今福線建設に関連してより『鉄道地図』



草案: 起草 島根県指導 農業士 佐々木博志 2015. 1. 1